

高校生 ICT Conference 2014

～考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方～

高校生 ICT Conference 2014 サミット 開催報告書

2014年11月3日（月祝）

【会場】東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催・共催

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

2014年11月3日

第1版



目 次

1. 開催概要.....	1
2. 高校生 ICT Conference 2014 サミット 開催概要.....	4
3. 担当	7
4. Conference の成果物と終了後の対応.....	7

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2014 ～考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方～ 第一回 「小中学生に伝えたい 情報モラル」 第二回 「2020年のICT環境を創造する」
主催・共催：	一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 安心ネットづくり促進協議会 大阪私学教育情報化研究会
共催（奈良のみ）：	帝塚山大学
後援：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省 北海道、奈良県、北海道教育委員会、奈良県教育委員会、大分県教育委員会 北海道青少年有害情報対策実行委員会 全国高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会 大阪府高等学校情報教育研究会、奈良県情報教育研究会 独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 一般社団法人全国高等学校PTA連合会、一般社団法人ソーシャルゲーム協会 一般社団法人電気通信事業者協会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構
協賛：	グーグル株式会社、グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー 株式会社メディア開発綜研、LINE 株式会社、株式会社中部トータルサービス
協力：	一般財団法人日本脳力研究協会、NPO 法人企業教育研究会 一般社団法人情報教育研究所、アルプス システム インテグレーション株式会社 株式会社インテグラル、株式会社内田洋行、株式会社NTT ドコモ 株式会社ガイアックス、KDDI 株式会社、株式会社サイバーエージェント ソフトバンクモバイル株式会社、デジタルアーツ株式会社、株式会社 BITS PUZZLE 株式会社ミクシィ、ワイモバイル株式会社
開催目的：	高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。今年度も昨年同様 5 拠点にて開催し、より全国的な規模での展開に向けて進めています。 高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインター

	<p>ネット利用環境の構築の一助とすることです。さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表致しました。2014年度も引き続き5拠点にて開催し、広い地域の、高校生ならではの意見を政府に届けるべく、開催を予定しています。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
<p>高校生 ICT Conference 2014 の開催会場・日程：</p>	<p>高校生 ICT Conference 2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ICT Conference 2014 in 北海道 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014年9月28日（日）13:30-17:00 第二回 2014年10月19日（日）13:30-17:00 （会場）札幌 ユビキタス協創広場 U-cala 北海道札幌市中央区北1条東4丁目1-1 サッポロファクトリー1条館1階 ・高校生 ICT Conference 2014 in 東京 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014年9月7日（日）13:30-17:00 第二回 2014年10月4日（土）13:30-17:00 （会場）東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行） 東京都中央区新川2-4-7 ・高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014年7月21日（月）13:30-17:00 第二回 2014年10月4日（土）13:30-17:00 （会場）大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店） 大阪市中央区和泉町2-2-2 ・高校生 ICT Conference 2014 in 奈良 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014年7月27日（日）13:30-17:00 第二回 2014年8月24日（日）13:30-17:00 （会場）帝塚山大学 第一回：奈良・学園前キャンパス 奈良県奈良市学園南3-1-3 第二回：奈良・東生駒キャンパス 奈良県奈良市帝塚山7-1-1 ・高校生 ICT Conference 2014 in 大分 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014年8月30日（土）13:30-17:00 第二回 2014年9月27日（土）13:30-17:00 （会場）ホルトホール大分 大分県大分市金池南1丁目5-1

	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ICT Conference 2014 サミット（各地域の代表者による熟議） 2014年11月3日（月） 13:30-17:00 （会場）東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行） 東京都中央区新川 2-4-7 ・最終報告会（サミットでの取りまとめを提言として関係府省等に報告） 2014年12月16日（火） 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省 他（予定）
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回 「小中学生に伝えたい 情報モラル」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 ・第二回 「2020年のICT環境を創造する」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表 <p>【サミット】「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p>
高校生 ICT Conference 2014 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高橋正夫（一般社団法人全国高等学校PTA連合会 元会長・一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構代表理事） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米田謙三（大阪私学教育情報化研究会副会長、私立羽衣学園高等学校） ・更科幸一（プレゼンピック、私立自由学園高等科） ・齋藤長行（青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員） ・鎌田真樹子（熟議懇談会委員、違法・有害情報相談センターアドバイザー） ・佐藤喜信（株式会社内田洋行 教育総合研究所） ・石原友信（安心ネットづくり促進協議会 事務局） ・吉岡良平（社）モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局） ・他、関係者団体、事業者等 <p>【スーパーバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野翔大（慶應義塾大学） ・金子真志（目白大学） <p>【事務局】 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局 吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-6913-9235 東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル3階</p>

2. 高校生 ICT Conference 2014 サミット 開催概要

概要	<p>北海道・東京・大阪・奈良・大分からのそれぞれ代表者 1 名と、今年度は沖縄からの招待参加を含め、合計 6 名の高校生が、各開催地の結果を持ち寄り、最終提言をまとめるための熟議を開催しました。素晴らしい提言が出来ました。</p> <p>高校生 ICT Conference2014 サミット参加校（各校 1 名）</p> <p>〔北海道開催代表〕北海道札幌月寒高等学校</p> <p>〔東京開催代表〕水戸葵陵高等学校</p> <p>〔大阪開催代表〕羽衣学園高等学校</p> <p>〔奈良開催代表〕奈良県立王寺工業高等学校</p> <p>〔大分開催代表〕大分県立別府青山高等学校</p> <p>〔沖縄代表〕沖縄県立南風原高等学校（招待参加）</p> <p>【開会の挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none">・経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長 佐野 究一郎 様・内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付 参事官補佐 鈴木 敦 様 <p>開会の挨拶では、本日の高校生の議論、そして最終報告会での提言に対しての期待のお言葉をいただきました。</p> <p>また、ご参観にお見えになりました総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課長吉田正彦様、文部科学省スポーツ・青少年局青少年課長の泉潤一様のご紹介がありました。</p> <p>第一部：熟議「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」</p> <p>まず全体の進行役の羽衣学園高等学校 米田謙三教諭より本日の大まかな流れとこれまでの主旨を説明していただきました。</p> <p>アイスブレイクとして各メンバーの自己紹介と、高校生が選んで買ってきたお土産の説明や自分のニックネーム、意気込みなどを発表しました。最初は緊張していましたが、だんだんと和やかになってきました。</p> <p>書記や参観の関係府省庁、事業者、教職員、地域ボランティア等の方々からも自己紹介をいただき、熟議が始まりました。</p> <p>各地域で行った熟議を思い出しながら、青い付箋を使って「高校生だからこそ小中学生に伝えることができる情報モラルとは何か」についてまとめ、また赤い付箋を使って「2020 年の ICT 環境を見据えて、ネットを安心、安全に使うために身につけておくべきことは何か」を模造紙にまとめていきました。</p> <p>時には、参観の皆さんにも質問をしながら、フィルタリングや有料のサービスに関するコメント等も参考にして、最終発表の内容について考えていきました。</p> <ul style="list-style-type: none">・提言資料作成 <p>その後、模造紙にまとめた付箋を確認しながら、お互いに役割分担を決めてその内容をプレゼンテーションソフトにまとめて、発表方法も自分たちで考えて決めて</p>
----	---

いきました。

第三部：提言発表

制限時間のある中、6名で上手に発表してくれました。

【発表内容】

タイトルは「ネットとの上手な付き合い方」です。まず「ネットをスマートに利用した 2020 年のライフスタイルを創造しよう」というテーマについて、ネットには何が必要かについてまとめ、知識として考える力が必要であり、光と影があること、また、思いやりとして言葉使いと相手の気持ちを考えることが必要であることが挙げられました。

二つ目のテーマである「小中学生がネットを安心・安全に使うために身につけておきたいこと」では、小中学生に伝えることとして、子供たちへは、親とルールを決めること、フィルタリングをつけること、ネットの仕組みや怖さを知ることについて発表がありました。また、保護者へは、フィルタリングの知識を身につけてほしいといったことや、個人情報の大切さを訴えていました。

最後のテーマである「2020年までにネットを安心・安全に使うために身につけておきたいこと」では、未来へ向けてと題し、受け身にならないで、ネットはあくまでも「ツール」であるということ、ネットとの付き合い方を考え直して、ネットから逃げないこと、信頼することが必要なのではという提言を発表しました。

提言発表後、発表者6人が、それぞれに考え感じたことを一言ずつ述べましたが、それぞれに今回のテーマについて深く考えていることが感じられました。

会場からは大きな拍手をいただき、発表を終えました。

【講評】

KDDI 研究所 研究主査／

青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員

博士（メディアデザイン学） 齋藤 長行 様

OECD でのご活動も交えてグローバルな視点から、本日の熟議でのやり取りや発表に関して丁寧な講評をいただきました。

最後に全体で集合写真を撮影。

今回の参加メンバーから 12 月 16 日の最終報告者に参加する代表 2 名を選考して、高校生 ICT Conference2014 サミットを終了しました。

<代表者>

- ・羽衣学園高等学校 3年 女子
- ・大分県立別府青山高等学校 3年 男子

【最終報告会】

2014年12月16日（火）

	<p>10:00～12:00 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 13:20～14:00 文部科学省意見交換会 14:20～15:00 総務省意見交換会</p> <p>※サミット熟議の詳細は別紙「熟議録」をご参照ください。</p>
サミット参加校：	<p>〔北海道〕 北海道札幌月寒高等学校</p> <p>〔茨城県〕 水戸葵陵高等学校</p> <p>〔大阪府〕 羽衣学園高等学校</p> <p>〔奈良県〕 奈良県立王寺工業高等学校</p> <p>〔大分県〕 大分県立別府青山高等学校</p> <p>〔沖縄県〕 沖縄県立南風原高等学校（招待参加）</p>
日時：	2014年11月3日（月祝）13:30-17:15
場所：	<p>東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行） 東京都中央区新川 2-4-7 アクセス 地下鉄東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」A4出口より徒歩4分</p>
参加人数：	<p>熟議参加生徒 6人 見学者 45人（教員・教育関係者 16人 その他 29人） 合計：51人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略）</p> <p>6名 大分県立別府青山高等学校 3年 男子 羽衣学園高等学校 3年 女子 北海道札幌月寒高等学校 2年 女子 沖縄県立南風原高等学校 2年 男子 奈良県立王寺工業高等学校 3年 男子 水戸葵陵高等学校 2年 男子 〔ファシリテーター〕 羽衣学園高等学校 教諭 米田 謙三 〔書記〕 大阪電気通信大学 當山 達也</p>

3. 担当

安心ネットづくり促進協議会	石原、牛腸	記録（撮影）、受付
EMA	吉岡、清水、野沢	事務局、庶務、記録（撮影）、受付
各地協力団体、事業者等		挨拶、ファシリテーター補助等
内田洋行	佐藤、眞鍋	会場設営、機材準備等

4. Conference の成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で Conference の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) Conference 終了後、書記が記録した各グループの Conference 内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、高校生 ICT Conference 2014 のサイトにアップデート
- 4) 第二回終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2014 サミット終了後、米田先生にて取りまとめ
- 6) 高校生 ICT Conference 2014 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 7) 最終報告会での発表